年度

県道矢島大泉線(谷田川橋)

老朽橋梁架替事業

<mark>事業継続中</mark> 電子データはこちら▶

く(わ)かる(公(共)





既存の社会資本の機能を維持させるため

老朽化した橋梁を 架け替えます

地 元 の 声

- ・橋が古いので地震で壊れないか心配。(地元住民)
- ・幅が狭く、車でのすれ違いが大変。 (地元住民)

事業前

◆老朽化によって、橋の健全度が低下しつつ ありました。また、耐震性が現行基準を満足 していないため、大規模地震時に落橋等の 可能性があります。



事業後

◆橋梁の架け替えにより、橋の健全性を改善する とともに、耐震性能を満足させ、大規模地震時 における安全な通行空間を確保します。



事業の概要

■ 事業箇所:館林市入ケ谷町~明和町入ケ谷

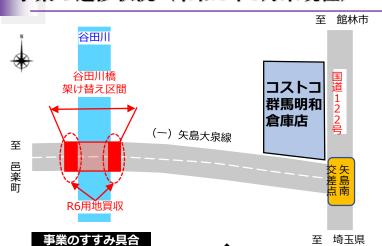
■ 事業内容:老朽橋梁架替

延長 35.5m 道路幅 9.2m

■ 事業期間:平成27年度~



事業の進捗状況(令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、用地買収を進めていき ます。



→

事業開始(

事業完了